



北高夢ロード通信

第 13 号(2023.7)

見えぬけれどもあるんだよ

会長 波多野宏之

夢ロード 10 周年の今年、別項のとおり、4 月の総会で下記の記念事業が決定し、補助金申請、会内外へのご寄付の依頼、役員改選を含む事業執行体制が承認されました。

- ・「『夢ロード』の 10 年と通学路の歴史」展（仮称）の開催
- ・冊子『「夢ロード」10 年のあゆみ』（仮称）の編集刊行
- ・シンポジウム「アートと市民をつなぐ：まちづくりの実践」（仮称）の開催

補助金につきましては、このほど申請どおり「山口きらめき財団」より約 18 万円の助成を得られることとなりました。この財団からの助成は 2019、2021 年度に続いて 3 回目になります。今回は応募 80 団体のうちの 48 団体の一つとして選ばれており、その理由として、10 年続いた活動の総括をすることの意義、また、それを刊行物等でより広く広報するとよい、との意見があった、と伺っています。

また、寄付につきましても、会員の皆様をはじめ、これまで活動のなかで関係の深まった通学路など地域の皆様、豊北高校卒業生の皆様などから多くのご支援をいただいているところです。略儀ながら、7 月 1 日現在でご芳名を p.8 に掲載させていただきました。記して感謝する次第です。

記念行事の準備にあたっては、『夢ロード』の 10 年展示・編集委員会を新たに設定し、その世話人会を開いて実施方針を固め、動き出しつつあります。今年度後半に予定しております行事等の概要は、p.8 をご覧ください。

さて、下関北高の新生は、会報に同封させていただいた『下関北高だより』（令和 5 年 4 月 20 日）で報告されているように、残念ながら昨年より 1 名増の 37 名にとどまっています（募集定員は 80 名）。

山口県立高校の統合再編について、菊川町にある田部高校が 2025 年度に厚狭高校と（同校校地に）統合されることになり、次はどうかとの心配の声が当会にも寄せられています。

中学校からの高校進学状況、通学手段などなど、現在置かれている下関北高校の実情を知る手段のひとつが高校の発行する『学校要覧』です。昨年 11 月、本会と高校との公開の意見交換の場で、下関市豊北図書館に（残部があれば）寄贈するとの発言があったにもかかわらず、年度が替わっても放置されているので対応を聞きました。新任の校長は、プライバシー上の懸念があるとして県教委の意見を求め、その結果、公共図書館で利用に供することができないとの回答があったとして昨年示された意向を否定しました。その根拠は、教員の名前が出ていること、出身中学ごとの進学人数が出ていること、だそうです。小中学校の『学校要覧』は、教員を氏名列記していますし、小学校ではその顔写真まで付して、地域との交流の促進を図っています。ちなみに、東京都立高校の例では、教員氏名を掲載したものが公共図書館の閲覧に供されています。

上にあげた田部高校などの例でも、（学校の置かれた状況は広く公開されず）突然県教委から統合案が出され、（ただ、聞きおだけの）パブリックコメントが募集されて、計画通りに統廃合に至るといった筋道……。こうした実態を皆さんはどうお感じでしょうか。

当会は、側面から下関北高校の応援を続け、また地域の多くの方々も関心の根を張り巡らしているのですが、高校の目はそれを見ず、県教委の方ばかりに向いているように思えます。

＜ギャラリー夢ロード＞第 18 回展
＜アートの本棚＞二十の扉

5月23日（火）～6月18日（日）、今回より4週間に延長し標記展覧会を開催しました。

昨年6月に約6,000冊に増加して新たな段階に入った＜本棚＞の中から320冊を展示し、20のテーマをとおして、蔵書の広がりをご覧ください。ご観覧いただくことを企図しました。

例えば、「第6の扉 絵巻と屏風絵」では15冊を展示。『特別展 京都：洛中洛外図と障壁画の美』は、東京在住会員の知人の方からの寄贈図書で、付録の7種の「洛中洛外図」縮尺複製画を壁面に展示して比較し、詳細に描かれた人物の表情などを楽しんでいただきました。



また、「第9の扉 巴里・パリ写真」では24冊を展示し、壁面には、参考として1920年から40年にかけて描くのに3万時間を要したというパリ市鳥観図（部分 写真下）を掲出し、天眼鏡でその細部を観察してもらいました。展示したのは、もちろん印刷物ですが、オリジナルは、18世紀当時のパリ市長にあたる人物チュルゴーの地図として有名なものを手本として細密に手描きされたものです。

なお、展示図書の略目録は、本会HPの＜アートの本棚＞のページからご覧いただけます。

（波多野宏之）



音楽とお話の夕べ＞に参加して
5月26日（金）北高吹奏楽 girls

（山本夢子・水嶋希空・渡邊碧）

今回の演奏会では地域の方々との交流が深まり、地域の人々の温かさを感じることができました。特に、地域の人々が熱心に応援してくれたり、多くの拍手をもらったことは忘れられない思い出となりました。

初めは3人でどんな演奏ができるだろうと心配でしたが、3人でも演奏できる楽譜を探したり、パートを振り分けたりしてなんとか演奏を形にすることができました。正直私たちの演奏を聴きに来てくださる方は少ないのではと思っていましたが、当日は30人ほどの方が聴きに来てくださって驚きました。

今回の演奏は単なる演奏の場ではなく、地域の文化や人々とのふれあいを通じて音楽を楽しむことができた貴重な機会でした。

また、地域の絆を深める場でもあり、地域のコミュニティの一員として参加することができてとても嬉しかったです。

これからも3人での演奏を続けて、さらなる成長を遂げたいと思います。

（山本夢子）



演奏した曲目：
アメージング・グレイス、赤いスイートピー、津軽海峡冬景色、上を向いて歩こう

6月2日(金) 白岡勝典
Jazz 名演聴き比べ♪ピアノトリオ篇
Part2

曲目は①スイングしなければ意味がない②ザット・オールド・ブラック・マジック③マトリックス④ミーニング・オブ・ザ・ブルース⑤オー・ソレ・ミオ⑥オール・ザ・シングズ・ユー・アー⑦危険な関係のブルース[ノー・プロブレム]⑧ミスティ

以上、60分にちょうど収まる選曲であった。

①はデューク・エリントンの曲ではじけるようなホンキー・トック調のピアノが印象的だが、白岡氏によると仙崎小学校赴任時代に昼休みにかけて生徒を整列させることができたという。②のピアノはハービー・ハンコック③はチック・コリアでともに有名。④はピアノトリオ以外にスキャットするボーカルが入り良かった。夏になるとパーカッションの入るカリブソ風の音楽も聴きたいが、この時期「音楽とお話の夕べ」がないのは残念。⑤はナポリ民謡。⑦は1973年発表のデューク・ジョーダンの曲だが、副題に[ノー・プロブレム]とある。当初ギャラが払われなかったが、フランス映画のテーマ曲として10年後に再演されヒットして(ギャラのことは)問題ない、という意味だという。流れるようで哀愁の残るメロディーである。⑧はエロール・ガーナーの曲(1954)でこの1曲でガーナーが名を残したといわれる。クイント・イーストウッドの映画でかかり、眠りを誘うような曲といわれ、最後には本当に眠ってしまうように感じた。(穂枝岳士)

6月9日(金) 古屋優
ピアノ協奏曲第2番へ短調 作品21

前回白岡氏の回より、講師にはA4 1枚の簡単なプログラム(演奏者、曲名等のデータを記したもの)を用意していただくことになり、メモを取る手間が省け、聴く方としては音楽そのものにも、お話しにも集中することができるようになりました。

今回は予告された標題曲の前に、「夜想曲(ノクターン)」から1番と2番がかけられ、とりわけ2番はよくきく曲でした。ピアノ演奏は、マリア・ジョアン・ピリス。標題曲は、力強い第1楽章から静かで優しい第2楽章、楽しくおらかに終わる第3楽章まで約30分が大いに

堪能できました。ピアノ演奏と指揮はクリスティアン・ツィーマン[1956-] 演奏は、彼が設立したというポーランド祝祭管弦楽団。お話では、第2楽章はショパンが密かに恋したコンスタンツィアへの音のラブレターであるといったことや、これを作曲した翌年の1831年、ワルシャワでの独立運動によりパリに移住。シヨルジュ・サンドとの恋や終生ポーランドに戻ることがなかったなどの挿話が挟まれました。(波多野)

6月16日(金) 穂枝岳士

この日は吉田拓郎と中島みゆきの曲が聞けると思い主人を誘い夢ロードへ出かけた。開催されている<アートの本棚>二十の扉を見学する。

「音楽とお話の夕べ」は、今回の展示中ではこの日が最後。『よしだたくろう～中島みゆきをつなぐ「糸」』が行われた。フォークソングが流れ始めたころ、私が思っていたのはギターを持って歌を歌うのはフォークソングである。吉田拓郎を初めて聞いたその時は、今まではなかった曲に思えた。曲だけでなく歌詞が今までとは違った言葉で表現され流れてきた。当日の中島みゆきもやはり素晴らしかった。

最近メディアでは80年代の曲が再認識されたように流れている。ゆったりと家で家人と共に聞くよりも、ギャラリー・夢ロードで聞く方が環境的に良いと、皆さんに言えるような会であってほしいと思った。(戸田佐和子)

「音楽とお話の夕べ」に参加して

元気だけがとりえの私が、突然三年前ごろから、体のあちこちが痛くなり、滝部にある介護老人保健施設ももとせの名医、衛藤泉先生の所へ通院していますが、中々以前のような元気な体には戻れません。気が付けば、三年の月日が経過している事に気がつき、生きている自分に考え方が変わり、生かされている日々感謝して生きようと心に決めました。そんな時に「音楽とお話の夕べ」のお誘いを受け、全力で参加させていただきました。ジャズやクラシック、日本の名曲など、ジャンルのちがう構成に心豊かにさせてもらいました。白岡様、古屋様、穂枝様、どうぞいつまでも続けられますことを願っております。(田村紘子)



2023 年度総会報告

北高夢ロード実行委員会 2023 年度総会は、4 月 22 日(土)、滝部公民館において昨年に続き対面で実施し、以下のとおり無事終了しました。

当日時点での正会員数 50 名に対し、出席者 16 名、同委任状 18 名の計 34 名で、過半数を上回り総会は成立。議長に山崎陽子氏を選出し、すべての議案が原案どおり承認されました。以下、事業報告、事業計画を掲載いたします。

(役員選任については、p.8 に掲載)

2022 年度 事業報告

(1) 下関北高に通学する生徒への傘貸与

滝部駅、笹尾商店、恒富邸、川崎商店、旧ふじ井陶園を設置場所として実施した。

(傘の数 54 本追加 累計 860 本)

(2) <アートの本棚>による図書の見学・貸出

以前計画した<アートの本棚 2>の公開は行わず、6 月より資料を旧笹尾商店に一括し、計約 6,000 冊として事業を継続した。読書週間(10.27~11.9)に下関北高図書室で「あっ！と声出る圧倒的 art~読書で彩る北高の秋~」を開催し、『アートの本棚通信』No.7 を刊行した。

(3) <ギャラリー夢ロード>による美術作品等鑑賞機会の提供

計画した 4 回の展示会のうち 3 回を実施することができた。

・第 15 回展 北高地域探究授業(環境・自然)写真展 5.17~29(入場者 92 名)
終了後、下関市豊北生涯学習センターに巡回した。

・第 16 回展 わたしもピカソ! はがき絵大集合展 10.11~23(入場者 145 名)
終了後、下関市豊北生涯学習センターに巡回した。

・第 17 回展 笑顔と学び 下関市立豊北中学校生徒作品展 11.22~12.4(入場者 63 名) 展示会累計入場者 300 名(巡回展を除く)

「音楽とお話の夕べ」は、展示期間中 6 回開

催した。

(4) 地域の歴史・民俗・自然環境等の調査・研究を通じた学習支援活動

豊北の水研究第 5 年次として下関北高 2,3 年生授業「地域探究 I・II」への協力を行った。週 1 回、参加生徒 8 名。フィールドワークを含め 5 月より 21 回実施。

第 6 回粟野川流域ホテル観察会を実施 5.27(参加者 20 名)

数学教室を開催した。10 月より滝部下市会館で高校生を対象として開始したが、参加者がなく、1 月より「折り紙と数学」と題して中学生・一般にも広げて実施した。

(5) 会報『北高夢ロード通信』の刊行 第 11 号(2022.7)、第 12 号(2023.3)を刊行した。

(6) 下関北高との協同

学校の魅力を増進するための論議の場として総会後に懇談会を開催し、志願者減少について意見交換した。和泉屋校長先生にきく会を開催した。11.26(参加者 24 名)
コロナ下にあり、文化祭への参入はできなかった。

読書週間図書室展示、「地域探究 I・II」は実施した(上記(2)(4)参照)。

県外在住会員を対象に『やまぐち応援寄附金』(ふるさと納税)の広報を仲介し、下関北高への支援を呼びかけた。

(7) 地域の関係機関・団体との連携

豊北高校同窓会等と共同で「下関北高校生入学祝意幕」を掲示した。(2022.3.28~4.25)

下関市生涯学習センターへ展示会を巡回した。(上記(3)参照)

滝部公民館祭りに参入し、紙芝居と会の活動報告パネル展示を行った。

しものせき市民活動センターの登録団体活動紹介パネル展に参加した。(9.29~10.9(シーモール下関)、1.10~25(市役所))

山口きらめき財団助成金説明会において、本会による助成金活用事例を紹介した。(1.21)

(8) 豊北の公共図書館サービス改善への取り組み

下関市立豊北図書室を図書館条例に基づく豊北図書館とすべく提言し実現した。図書館案内道路標識の設置についても申し入れを行った。

(9) ホームページの運用

継続して運用した。

(10) 総会、役員会

総会は対面で実施した。(4.23)。役員会は5回開催した。(4.9*, 7.9*, 10.8, 12.3*, 2.18) *はリモートによる

2023年度 事業計画

下線は新規事業

(1) 創立10周年行事として下記を行う。

10周年記念展示「『夢ロード』の10年と通学路の歴史」展(仮称)の開催

10周年記念冊子『『夢ロード』10年のあゆみ』(仮称)の編集刊行

10周年記念シンポジウム「アートと市民をつなぐ：まちづくりの実践」(仮称)の開催

(2) 下関北高に通学する生徒への傘貸与事業を継続する。

(3) <アートの本棚>による図書の閲覧貸出

<アートの本棚>(旧笹尾商店)の公開を継続し、閲覧貸出サービスを行う。蔵書紹介のため「<アートの本棚>二十の扉」展を開催する(4参照)。読書週間に下関北高図書室で<アートの本棚>展示(10.27~11.9)を開催し、『アートの本棚通信』第8号を刊行する。アートや本をめぐる小規模な集い「カフェ・リーブル」(仮称)を開催する(月1回程度)

(4) <ギャラリー夢ロード>による美術作品等の鑑賞機会の提供

展示会を3回開催し、会期中にギャラリー・トーク、音楽とお話しの夕べ等を実施するほか、ギャラリーでの展示終了後、他機関へ巡回して鑑賞機会の増加を図る。

第18回展「<アートの本棚>二十の扉」展(仮称)

第19回展「『夢ロード』の10年と通学路の歴史」展(仮称)

第20回展 北高成果展 2023(仮称)

(5) 地域の歴史・民俗・自然環境等の調査・研究を通じた学習支援活動

豊北の水研究第6年次として下関北高2、3年生授業「地域探究Ⅰ、Ⅱ」へ、夢ロード独自の研究テーマ(アオノリ・モクスガニ養殖実験/海岸漂着物問題/栗野川流域の地質・生物)に沿って協力する。小中学生徒との協同も視野に入れる。

モンゴル襲来紙芝居の作成を継続する。

第7回栗野川流域ホテル観察会を開催する。数学教室・折り紙同好会など開催の準備を継続する。

(6) 会報『北高夢ロード通信』の刊行

第13、14号の刊行(7、3月)

(7) 下関北高との協同

学校の魅了を増進するための方策について、広く論議する場を設ける。

文化祭への参入のほか読書週間<アートの本棚>展示((3)参照)、「北高成果展」((4)参照)「地域探究Ⅰ、Ⅱ」(5)参照)を実施する。県外在住会員を対象に『やまぐち応援寄附金』(ふるさと納税)の広報を仲介し、下関北高への支援を呼びかける。

(8) 地域の関係機関・団体との連携

豊北高校同窓会等と連携し、下関北高校祝意幕を掲示する(3月~4月)

下関市立豊北中学校校長等を囲む懇談会を開催する。

下関市生涯学習センター等へ展示会を巡回する。

滝部公民館祭りに参加する。

しものせき市民活動センターの登録団体活動紹介パネル展に参加する。

(9) 豊北の公共図書館サービス改善への取り組み

下関市豊北図書館の利便性向上のため、実態調査その他必要な活動を行う。

(10) ホームページの運用

(11) 総会、総会後の懇談会、理事会(年4回程度)

夢ロードと豊北中学校 交流拡大へ

4月22日(土)、夢ロード総会後、懇談会「豊北中学校豊澤校長先生、富工教頭先生を囲んで」が開催され、会員12名が参加しました。当初予定の矢田部校長は4月の人事異動で転出されたので、現豊澤校長の了承を得て実現したものです。

前号で紹介したギャラリー夢ロード第17回展「笑顔と学び」(2022.11.22~12.4)で、豊北中学校生徒による作品約160点を展示して好評を博しており、これはその延長線上にあるものです。

ギャラリーでは、従来2年に1回、下関北高校生徒の作品を展示してきましたが、これに加えて中学校を含む地域の学校と広く交流しようという試みです。

これまでの打ち合わせや今回



岡崎新太郎先生による学力向上教室

の懇談会を通じて、2年に1回の展示会開催の他、数学の補習授業の支援を提案したところ、学校側ではさっそく父兄にアンケートを取られ、5月より実施する運びになりました。授業の内容については、右欄を参照していただくとして、学校広報(きらめきネットコム)掲載記事(抜粋)と写真を再掲します。

「梅光学院中学校・高等学校の元校長、岡崎新太郎先生による学力向上教室が始まりました。月に2回程度、木曜日の放課後行います。初回の今日は岡崎先生に用意していただいたプリントでオリエンテーションを中心に、個別学習にも取り組みました。今後は、学力に応じた個別学習を中心に取り組んでいく予定です。」
(文責古田)

お料理づくりをしてみよう。

そうすれば数学に強くなる

豊北中学校での「個別指導による学力向上教室・数学」では月2回木曜日4:30より1時間のサポートをしています。

伝えているのは

その一

『行きづまったら、ふりだしに戻れ』『くりかえす。習熟する。そして楽しくなる。』

その二

- 1、数字をきれいにかく。
- 2、強い、筆圧でかく。Bの鉛筆を使う。
- 3、間違ったところは消しゴムで消さないで定規を使い二重線で訂正する。

お料理を作るには自分の手を動かさなければなりません。基本の手順を踏まないとできません。同じ料理を何度も作っていると、楽しくなっておいしいものができます。

各回面白いことを一つだけ紹介しています。

6月29日はハノイの塔 (インターネットで調べてください。同じ数の積がテーマ)



折り紙を折ると数学に強くなる

15cmの折り紙で「鶴」を作ってください。そのあと正方形に戻し折れ線をトレースしてください。小さな多くの平面の多角形で立体の「鶴」が構成されています。数学は「分析」から「総合」の営みです (岡崎)

地域の研究の学習支援活動

地域探求授業支援の計画

地域探求授業を担当しているのは、夢ロードの岡崎・藤岡・白岡の三人で、今年は、先生方が主体的な計画をということでまとまっている。



5月26日(金)には滝部久森での「ホタル観察会」を開き、次のように随時、実行していくこととなる。

- ② 川の生物観察 (7/6) …滝部
- ③ コリヤガイ採集 (9/7) …角島
- ④ 角島灯台ガイド (10/19) …角島
- ⑤ 干し柿づくり体験 (10/26) …滝部
- ⑥ // (11/7) …校内
- ⑦ きのこと採集 (11/10) …滝部
- ⑧ 粘土づくりと陶芸 (2/1) …校内
- ⑨ アオノリの生育観察 (2/22) …栗野

以上9回である。

地元講師に休みはない。(文責 藤岡)

豊北の今の姿は…

【里山花ショウブ園から町おこし!】

里山の裾野に今年も「花ショウブ地論6万本」が見事に咲き誇りました。

昨年に比べ、開花時期が10日程度早く5月下旬から6月上旬にかけて40種類2500株の美しい花ショウブが田圃を飾ってくれました。この花を一目見ようと、地元はもちろん旧市内の方をはじめ遠くは岩国市、周南市、防府市、山口市、萩市、北九州市などから大勢の来場者で連日賑わいました。

令和の時代、花と旅に興味がある方が多いのに改めて実感しました。

豊北は自然景観に恵まれた美しい町です。2000年に角島大橋が開通、続いて道の駅が誕生、全国に知られるようになり、近年、観

光交流客は100万人を超えました。しかしながら、基幹産業の衰退で、町内各地区で空き家や休耕田が増え続けています。

お隣の豊浦町にはリフレッシュパークがあり四季折々の花が楽しめ、又イベントも随時開かれ多くの人出で賑わっています。でも豊北には花公園の一つもありません。

この交流人口と町の資源(お宝)を活かして、過疎高齢化が進むこの町を何とかして活性化する方法はないだろうか。

今から遡ること13年前、住みよい豊北町を守る会が発足しました。この町を何とかして元気にしたいと思う有志が3ヶ月に1回古民家で議論を重ねました。でもいざ実行となるとなかなか前に進みませんでした。

こうしたなか、先ず花を栽培としよう意見があり実行したのが蓮の花の栽培でした。でも想像していたより水草の勢いが強く3年で撤退しました。そして次に取り組んだのが花ショウブの栽培でした。

平成28年秋、現在地に移植して8年、仲間とともに汗をかきながら草取りと株分けを繰り返し株数を増やして来ました。

花ショウブと古民家、そして背後の里山からは、日本海を見ることが出来ます。里山には自生のツバキや椎の木がたくさんあります。

花ショウブをキッカケ新たな取り組みが芽生えること期待しつつ、今後、里山にアジサイや桜を植え、花ショウブと併せ豊北の名所に育てて行きたいと考えています。

訪れた方々から貴重な意見をたくさんいただきました。来年また会える日を楽しみに取り組みを進化させ、次世代につながる交流の場を拡げて行きたいと思っています。

(永富輝久)



来年も交流の場になるように

10周年記念事業（予告）

4月22日の総会で承認されました10周年記念事業として下記のとおり実施いたします。ただし、コロナその他の不確定要素もありますので、最終のお知らせは、10月に入りましてチラシ等でご案内いたします。

■10周年記念展示 <ギャラリー夢ロード> 第19回展 「「夢ロード」の10年と通学路の歴史」（仮称）

日時：11月7日（火）～12月3日（日）

■10周年記念シンポジウム

「アートと市民をつなぐ：まちづくりの実践」（仮称）

下関市内外の先進団体の実践報告と討議。

日時：11月11日（土）14：00～17：00

会場：滝部公民館（太陽館）講義室

■10周年記念冊子

『「夢ロード」10年のあゆみ』

発行予定：2023年12月

10年ご寄付のお礼

2023年7月1日現在、下記の方々よりご寄付をいただきました。上記記念事業に活用させていただきます。

（ご芳名五十音順 敬称略）

秋枝影樹、磯部珠枝、植村栄治、大中千早、岡崎新太郎、尾瀨正美、荻衛、木本信昭、小林文生、小山モーターズ、里村暁夫、白石良夫、白岡勝典、末永清、末永登紀子、田中法久、津田洋昭、恒富英雄、中原忠男、中村千恵子、中山淳・篤子、波多野宏之、樋口州男、福島洋子・喜代美、福田康正、古澤隆人、古田雅士、古屋優、宮本邦雄、山崎陽子、山中敏恵、山村勇介、吉留徹。

計 33 件 65.5 口

2023～2024年度北高夢ロード役員

（豊北高校卒業年 住所） *新任

会 長 波多野宏之（s39 下関市豊北町）
副会長 岡崎新太郎（s39 下関市熊野西町）
監 事 永富 輝久（s40 下関市豊北町）
理 事 磯部 珠枝（下関市豊北町）
理 事 城石 郁裕（s39 千葉県松戸市）
理 事 白岡 勝典（s48 下関市豊北町）
理 事 戸田佐和子*（s43 下関市豊北町）
理 事 藤岡 達雄（s47 下関市豊浦町）
理 事 古田 雅士（下関市豊北町）
理 事 古屋 優（s40 下関市豊北町）
理 事 溝口 あや*（下関市豊北町）

■4町団体交流会「夏の市民フェスタ」

菊川、豊浦、豊田、豊北の4町の市民団体によるワークショップなどの催しが8月20日（日）10：00-15：00、菊川ふれあい会館アブニールで開催され、北高夢ロードは、ブースとパネル展に参加する予定です。

問い合わせ：しものせき市民活動センター

Tel：083-231-1826

会費納入のお願い

2023年度会費を未納の方は、同封の振替用紙でお振り込み願います。正会員：2,000円
郵便振替 口座記号：01350-1 口座番号：106942
加入者名：北高夢ロード実行委員会

北高夢ロード通信 第13号（年2回刊）

2023年7月20日発行

編集：会報編集委員会（戸田・磯部・白岡・村上）

発行：北高夢ロード実行委員会

〒759-5511 山口県下関市豊北町滝部218-5

Tel：083-782-0084

ホームページ：http://yumeroad.org

Email：kitakoyumeroad@gmail.com